

# 平成30年度 業務棚卸評価シート

No.	3	担当部課名称	都市部都市計画課
事務事業名	住居表示整備事業		
見直しのタイトル	老朽化した住居表示街区案内板の効率的な管理		
添付資料 有無	無		

## 1 現状における課題

- ・老朽化した住居表示街区案内板が増加しており、維持管理に苦慮している。新規で設置することも困難であるため、職員が清掃等維持管理を行っている。

## 2 業務改善の趣旨及び具体的内容

### 【趣旨】

市内64台設置されている住居表示街区案内板の老朽化の度合いを特定し、効率的、計画的な撤去ができるようにし、市民通報による住居表示街区案内板の維持管理に関する対応件数の減少を図る。

### 【具体的な内容】

老朽化している住居表示街区案内板は見た目も悪く、ほかに広域避難場所案内看板などあり、法的に設置義務はない。現在設置されている街区案内板は現況と異なっていることも多く、最新情報が反映されていない。また、昨今、スマートフォンの普及によりインターネットを通じて地図を見ることもでき、住居表示街区案内板の必要性に関しては少なくなっていると考えられる。

これらのことを踏まえ、市内の住居表示街区案内板の老朽化について調査を行い、次年度から効率的に撤去を進める。

## 3 改善により期待できる効果

64台の住居表示街区案内板の現地調査には職員1名が5日程度かけて行うことと想定されるが、撤去を進めることで、職員が随時行っていた、老朽化により汚れてしまっている住居表示街区案内板の維持管理に関する業務がなくなることにより、職員が他の業務を行う時間が生まれる。

#### 4 実施スケジュール（概要）

6月から9月 現地調査  
10月から 撤去にかかる優先順位の決定

#### 5 実施結果の振り返り

市内64台の住居表示案内板について、記載内容、汚れ・破損などを点検し、「良好」「経過観察」「要改善」「即時修理」にランク付けを行った。「即時修理」と判断されたもののの中で特に危険なもの4台を撤去した。

維持管理に関する業務量については、点検を行ったため、一時的に増加したが、今後も引き続き老朽化が激しいものの撤去を継続して行うことで、維持管理に関する業務量は軽減していくと考える。